



脱走した動物は、予めどの場所で捕獲するかを決めておき，なるべく刺激を与えないようにして囲い込み誘導する。この際は，捕獲隊長車による先導の元，チンパンジーはウオッチングセンター前方面へ。



捕獣網は，チンパンジーの動きにあわせてじわじわとその輪が狭められていく。



ついにウォッチングセンター前の広場でチンパンジーの周囲が捕獣網で包囲されてしまう。



若干の興奮行動もあったが、程なく登場した捕獲隊・病院班車が出動。麻酔銃で倒れるもその効き具合を確認。捕獲網を掛けて無事に捕獲完了した。



約 80 名が捕獲隊員として参加した訓練に対し福田園長から「非常に緊張感のある訓練であった」、「脱走は、決してあってはならない。起きるとすれば想定外であり、日頃から心しておくことが重要だ」との趣旨で講評があった。



最後に報道 15 社？との質疑応答で、「訓練の計画と実際のずれ」、「脱出動物と訓練用の擬似動物との扱いのずれ」その他があった。この役を演じた隊員はチンパンジーの飼育担当で、「日頃観察してきた習性がこの訓練に生かせるようにと振舞った」との趣旨で話があった。